

【活動報告】

神奈川の身近な自然を訪ねて ～中原街道と徳川天領山田村の自然と歴史を訪ねて～

日時：2024年3月13日(水) 16日(土) 10:00～14:30

場所：横浜市都筑区

参加者：一般 40名（13日 21名、16日 19名） スタッフ 9名

横浜市地下鉄東山田駅をスタート。まずは旧中原街道沿いにあった庄屋、栗原家の長屋門を観察。脇には美しいウンナンオウバイが咲いていました。そこから「のちめ不動尊」に寄ってから丘の上にある山田神社に向かいました。明治初期に近在15社を合祀した中心的な神社です。高い丘の上にながら周り高い木に囲まれていて眺望は期待できないがその分街中にあるとは思えないほど幽玄なたたずまいを保っていました。歴史を感じさせる長い参道を下り再び中原街道に出ます。中原街道は家康もよく利用したとのことで街道沿いには徳川家と同じ宗派の浄土宗清林寺があり、入口の階段上には大きなヤブツバキがありました。これほど大きなヤブツバキは他ではあまり見られません。

清林寺裏手から尾根筋に登ると一気に眺望が開け、遠く新川崎のタワーマンションや新横浜のプリンスホテルまで見えました。センター北駅の観覧車も見える尾根筋をしばらく歩きます。今度は尾根から反対側に下り大善寺の大ケヤキを観察したあと徳生公園まで緑道を歩きました。都会のオアシスといった感の徳生公園で昼食を摂りました。午後は樹木の中の「ふじやとの道」を歩き山田富士に向かいました。途中冬枯れのサワフタギや花が咲き始めたウグイスカグラなどを観察しました。そして最後の締めくくりは山田富士の登山です。登山道には黄色いサンシュユの花が満開でした。山を下り地下鉄北山田駅で解散しました。

水・土2日とも上天気恵まれ、事故も無く楽しい「神奈川の身近な自然を訪ねて」となりました。

(文：鈴置 写真：坂間)



山田神社



春の野草



尾根道と富士



徳生公園



ふじやとの道のウグイスカグラ



山田富士公園のサンシュユ